

薬樹 在宅療養支援薬局新設

1都3県を中心に関東で調剤薬局を展開する薬樹（神奈川県大和市）は既存店舗の「薬樹薬局 飯田橋」（東京都新宿区）の2階に在宅療養支援薬局「訪問薬樹薬局 飯田橋」を新規開局し、2014年8月から運営を開始している。近隣の本社店舗とも連携し、在宅患者に対してこれまで以上のサポートを提供していく。昨年からは独居の高齢者を支えるための見守りサービスを始めると、薬局の機能拡充を進める薬樹の取り組みを取材した。



事業統括本部
在宅事業推進
グループ
永瀬航
グループマネジャー

「訪問薬樹薬局」は当社が主に在宅患者の支援に力を入れる店舗に付けるブランド。同社は「訪問薬樹薬局 飯田橋」を東京の在宅分野における基幹店舗と位置付け、港区や大田区などの既存店舗と連携するための機能を持たせた。

クリーンルームを設置し、無菌調剤に対応することで多様な医療ニーズに応える。薬剤師は1階の店舗に6人、2階の店舗に4人を置く手厚い人員配置。24時間365

日体制を敷いて患者のサポートにあたる。

人員・設備ともに整ったことで「がんの末期患者や重度者に対する支援の一層の充実と緊急時のより迅速な対応を実現できる」（事業統括本部・在宅事業推進グループ・永瀬航グループマネジャー）。在宅医からも「サポートの質が高まる」と歓迎されている。

1階・2階の店舗ともに管理栄養士も配置した。管理栄養士は1階店舗では外来患者に、2階店舗では訪問によって在宅患者に対して健康管理のための栄養指導を行う。同社では薬局店舗への管理栄養士の配置も強化しており、2014



▲東京の基幹店舗と位置付け、クリーンルームも設置した

年9月1日現在、全148店の内、約2割にあたる店舗で管理栄養士による栄養指導が実施されている。先行して取り組んできた店舗では医師からの依頼で患者を指導するケースも増えている。

在宅医療の中心となる「訪問薬樹薬局」の店舗数は今後更に増やしていく計画。店舗への管理栄養士の配置も順次進めていく考えだ。

在宅医療を推進する同社は、過去に調剤薬局として総務省管轄のICTを活用した医療・介護連携の実証実験への参加も果たした。ともに実証実験へ参加していた訪問介護・看護、居宅介護支援の事業者とは実験終了後も定期的に在

宅医療の在り方や多職種連携について議論を重ねている。

昨年からは横浜市の補助事業で血圧計を活用した見守り支援サービスもスタートさせた。同社薬剤師が訪問服薬指導を行う患者の内、個人宅で独居の高齢者には自宅に通信機能が付いた血圧計を置く。高齢者は1日1回、自分で血圧を測定。測定結果は薬局店舗にデータで送られ、薬剤師が安否を確認するという仕組みだ。

データが届かなければケアマネジャーや家族に連絡をする。血圧の数値に異常があれば主治医に指示を仰ぎ、服薬指導なども行う。永瀬グループマネジャーは「訪問服薬指導において薬剤師が患者のもとを訪れるペースは2週間に1回のケースが多い。このサービスでは薬剤師が毎日血圧を確認することで見守りに加え、服薬指導の質の向上にも繋げられる」とし、医療サポートが上乘せされた新たな見守りサービスとしての普及を目指していく。

○ 薬樹

まちの皆さまと共に健康な毎日をつくり
笑顔とありがとうの輪を広げる

- 首都圏を中心に148店舗の保険薬局を展開
集中出店しているからこそ出来る医薬品の配達ネットワーク
臨時処方薬への対応もご相談ください
- 高い服薬管理品質とご入居者様・医療機関からの信頼
薬剤師の往診同行や薬剤の一元管理をさせていただきます
- 基幹店にはクリーンルームを完備し、幅広い入居者さまのご要望にお応え
ご入居者様に合わせて錠剤～注射剤まで対応させていただきます



施設スタッフさまの
負担軽減のお手伝いを
させていただきます。

まずはお気軽に
お問い合わせください。

薬樹コンタクトセンター

☎ 0120-34-8910

首都圏最大規模 148 店舗 (2014 年 10 月現在)

薬樹株式会社

〒242-0005 神奈川県大和市西鶴間 1-9-18
<http://www.yakuju.co.jp>

高齢者住宅

業界データブック

高齢者住宅
運営居室数
ランキング

全国トップ

500

法人

知っておくべき6種のデータ

社会保障／医療
介護保険制度
住まい／人材
障害者

株式会社 高齢者住宅新聞社
Elderly Press Newspaper

2015年版